

## ISO14001 と労働衛生：着衣の工夫と体感温度

### 環境・健康

省エネルギー対策上からの冷房あるいは暖房の室温の設定温度は、労働衛生上あるいは作業性からは夏季では高めの温度、冬季では低めの温度となります。このため、併せて服装による対応「クールビズ、ウォームビズ」が必要です。また、冷房時の冷房病対策としても服装による対応が必要です。

下記表にオフィスでの着衣の工夫と体感温度等の違いについての（財）省エネルギーセンターの調査結果を示しました。この資料は、クールビズ、ウォームビズ、冷房病対策など服装により対応する際の目安となります。

着衣と体感温度差（オフィス）

性別	着衣の状態		体感温度		体感温度差 [B] - [A]
	[A]	[B]	[A]	[B]	
男性	半袖肌着 (上着あり：スーツ)	長袖肌着+ズボン下 (上着あり：スーツ)	24.2℃	25.1℃	+0.9℃
男性	上着なし	上着あり（スーツ）	22.8℃	25.1℃	+2.3℃
男性	上着なし	カーディガン	22.8℃	25.0℃	+2.2℃
女性	スカート、膝掛けなし (上着あり)	スカート、膝掛けあり (上着あり)	22.1℃	24.6℃	+2.5℃
男女	女性：スカート (上着あり)	男性：ズボン (上着あり)	22.1℃	25.0℃	+2.9℃

【体感温度差室温】 20℃下でのサーマルマネキンによる調査結果

【サーマルマネキン】 人間の温熱特性を再現する温熱ダミー

【体感温度】 温熱感覚および放熱量が実在環境におけるものと同等になるような標準状態の気温

### kes サポート

課 題	kes サポート
作業環境の調査	作業環境測定
ISO14001 関連調査	環境計量証明事業（環境側面）
ISO14001 と労働衛生取り組み支援	労働衛生等コンサルティング